



林 声

2018

7 月号



自然豊かな里山環境を最大限に活かした活動拠点「森の冒険ひみつ基地」で、遊び環境づくりと子育て支援に取り組むNPO法人備前プレーパークの会の皆さん（前列左から中村 香奈子さん、難波 理恵さん、北口ひろみさん、西山 里佳さん、岡野 理津子さん 後列左から市原 了古さん、清家 彩菜さん、小橋 恭子さん、永光 祥子さん、西上 千景さん）。子ども達が自然の中で五感を使って遊び育つ「遊びの力」と、人と人とが繋がり合える「こころ豊かな暮らし」の中で、新しい地域の拠点づくりに活躍されています。（詳細はP 2に記載）

目 次

おかやまの森ガール・木ガール	
NPO法人 備前プレーパークの会	2
がんばる認定事業体（榎院庄林業）	3
普及指導区の情報（新見普及指導区）	4
日本伐木チャンピオンシップ（横山大蔵）	5
新たな森林経営管理制度について	6
森林環境税（仮称）及び森林環境譲与税（仮称）	7
研究だより（森林研究所林業研究室）	8
岡山県新規職員採用職員（林業職）自己紹介	9
イベント成果（津山普及指導区）、行事、	
イベント情報	10

技能講習等情報、林産物市況	11
森林・林業施設の紹介	
（高梁市宇治町宇治の公共トイレ）	14

【ほっけ～木になる情報】

Q. 望ましい森林の姿を実現するために人工林の約1/3を長期的に複層林に誘導する（森林・林業基本計画）とありますが、どのようにすればよいですか。



おかやまの森カール。
森カール

NPO法人
備前プレーパークの会

【東備普及指導区】

備前市久々井地区の自然豊かな里山に「森の冒険ひみつ基地」と名付けられたNPO法人備前プレーパークの会の活動拠点があります。スタッフは皆、子育て真っ最中のお母さん。子ども達の賑やかな声が飛び交う中、代表の北口ひろみさんにお話をお伺いしました。

一 森の冒険ひみつ基地

◎活動の経緯を教えてくださいー

「他地域でのプレーパーク（冒険遊び場）の活動をテレビで見ても、お母さん達が繋がりがいい、自然の中でびのびと子育てができたらと思っていました。岡山市で日本冒険遊び場づくり協会の天野秀昭さんの講演を聴き、備前の地にプレーパークをつくりたいと思ったんです。」

平成17年に母親達で実行委員会を立ち上げ、公民館の広場を借りて活動を始めたとのこと。その後、活動場所の移転やメンバーの退会などのピンチに直面しましたが、現在の山林を無償で提供してくだ



子ども達は遊びに夢中です！

さった亀井廣満さんを始め、地元の方々の協力にも恵まれて、平成21年5月に「森の冒険ひみつ基地」がオープンしました。

二 備前プレーパークの会の活動

◎どの様な活動をしていますかー

「森林を活かしたプレーパークを展開するようになってから来場者が増えたのですが、単なる遊び場ではなく、毎日ここで子育てしたいというニーズが高まって、平成27年4月から備前市の委託を受けて「地域子育て支援拠点」として週5日の活動を始めています。備前市や岡山、倉敷、津山、兵庫県等からも来場があり、平成29年度は1万人を超えました。」

園内は木立を活かしたツリーハ

ウスなどもあり、まさに森林そのものが大きな遊び場。子ども達は思いの遊びに熱中しています。

三 子ども達の様子など

スタッフの皆さんに、子ども達の様子などをお聞きしました。

■清家 彩菜さん

子ども達はすぐにコミュニケーションがとれるようになりますし、大人が教えなくても山の斜面を上り下りできるようになるんです。

■難波 理恵さん

五感を使って遊べるのが大きく、運動能力の発達は脳の発達にも繋がっていると思います。

■小橋 恭子さん

子どもは自然からエネルギーをもらっている感じがして、逞しいと感じています。

■岡野 理津子さん

一年を通して自然に触れながら過ごせることは貴重だと思います。

■市原 了古さん

皆で子育てができ、いつでも誰かがいるので温かいと思います。

■永光 祥子さん

ここではお母さん達を大切に考えてくれます。私も困っているお母さんに声かけしたいと思います。

■西上 千景さん

子どもがいきいきとした表情に

変わる姿を見られて、幸せを感じています。

■中村 香奈子さん

スタッフは仲が良くチームワークがいい。悩みを持つお母さん達は繋がることで救われています。

■西山 里佳さん

子どもの頃、この森は誰もいなくて怖い場所でした。森の冒険ひみつ基地がここまで発展したことは奇跡だと思っています。

四 森のまなび舎づくりを目指して

◎今後の目標を教えてくださいー

「里山は子どもが遊び育つ最高の子育て環境です。現在、森のようちえん事業や放課後児童の居場所づくり事業にも取り組んでいます。持続可能な活動を展開するために『森のまなび舎』を作りたいと考えています。体力や心の面は人生の基礎で、そういったものを乳幼児から森で育てていくことに大きな価値があると思っています。」

北口さんを始め、スタッフの皆さんは誰も笑顔に溢れています。森のエネルギーをいただいで、人との繋がりの中で子育てに正面から向き合っている皆さんの益々のご活躍を願っています。

（東備普及指導区 掛屋 晶則）



一 はじめに

院庄林業(株)は、昭和30年に創業した津山市に本社を置く製材を主とする企業で、プレカット加工事業や集成材、山林育成、住宅事業も手掛ける総合木材メーカーです。今回は、山林事業担当マネージャーの豆原義人氏から活動内容についてお話を伺いました。

二 山林事業の概要

院庄林業(株)では、製材工場で消費する原木の仕入れ流通コストの削減や安定的な単価での原木調達を目的に、平成26年から山林事業(森林所有者から直接立木を購入する事業)を開始しました。現在は営業2名、現場作業員3名の体制で実施しています。特に平成28年からはフェラーバンチャ、ハーベスタなどの高性能林業機械を使用し、市場が求める材に造材し、低コスト化を図っています。

路網開設による皆伐作業を中心に年間10,000立方メートルを目標

に素材生産を行っています。平成29年度の事業実績は約8,600立方メートルで目標達成も近いと考えています。



ハーベスタによる造材

三 ドローン(UAV)を使用した森林所有者からの立木購入

森林所有者から立木を購入する場合、森林所有者の土地がどの範囲なのかを明確にするため、ドローンによる3D写真を撮影し、森林GIS上で「見える化」して森林所有者に対する説明や現地での場所を確認する際に活用しています。3D写真を活用することにより、対象の土地の境界とその土地にある樹種の明確化が可能となり、より精度の高い見積もりを短期間で作成することが可能となっています。また、森林所有者の代

替わりや高齢化による現地の把握が困難な場合の問題解決にもつながっています。なお、森林所有者と契約し、伐採作業を行った後に対象地を再度ドローンで撮影して境界データと重ね合わせた図面を作成し、森林所有者に伐り残しや誤伐がないことを説明しています。



ドローンによる撮影と境界確認用図面(右)

四 特徴的な活動

山林事業を進める中で、森林所有者との協議のスピード化、境界確認の正確さ、複数回の確認行為、伐採作業との情報共有等が重要であることを改めて認識しまし



3次元計測システムによる調査

た。このため、地上レーザー測量による調査精度の向上と調査時間の短縮を目指してレーザースキナーを使用した森林3次元計測システムによる山林調査の実証に取り組みしており、開発メーカーとも連携してハード・ソフトともにバージョンアップを実施中です。

五 終わりに

院庄林業(株)では、原木の調達の4割が原木市場以外からとなっており、将来的には作業班を2班に増やすとともに、山林事業による原木調達を5割にまで高める計画です。津山普及指導区としても益々活躍していただけるよう、森林経営計画の作成や高性能林業機械の導入等に対して支援していきたいと考えています。

(津山普及指導区 金光 兵衛)

普及指導区の情報

環境保全型森林ボランティア活動を実施しています

【新見普及指導区】

一 はじめに

新見地域では、毎年、県内外の大学生を対象に、人工林の間伐作業等の体験を通じて、森林・林業の重要性を学ぶ環境保全型の森林ボランティア活動を支援する取組が行われていますのでご紹介し

二 概要

この取組は、昨年度で16年目を迎えており、平成27年度からは、(一社) 人杜守(代表 多賀紀征)が主催者となって、新見市神郷高瀬地区を拠点に、9月と3月の年2回、各2週間の日程で行われています。

ボランティアの募集に当たっては、学生ボランティア雑誌やフェイスブック等を活用し、昨年度は、岡山大学をはじめ、遠くは、東京、京都、三重などの大学から、34名が参加しました。

三 活動内容

活動期間中は、間伐等を中心に危険な作業を行うため、初日に林業普及指導員がチェーンソーの使い方、メンテナンス、伐木・造材の安全な作業方法について、DV D等を活用しながら、初心者にもわかりやすいように座学と現地での技術指導を行いました。

実際の活動では、一班3人から4人に分かれ、前新見市地域おこし協力隊(林業男子)や森林組合の作業員等のスタッフの目が全員に行き届く体制をとって、チェーンソーによる伐採や枝払い、林内作業車での搬出作業等を安全第一で行いました。

最初はチェーンソーのエンジン音に驚いて戸惑っていた参加者もいましたが、伐木作業の経験を積むにつれてしだいに慣れ、動作がスムーズになっていきました。期間中は、地区内の温泉宿泊施設に参加者が宿泊して食事の準備等を分担しながら共同生活を行っていたこともあり、その協力体制が現場作業にも活かされていたようです。

この他、期間中には、県内の林業関係試験研究機関、木材市場等

を視察し、間伐の必要性や木材の流通の現状等について理解を深めるとともに、地域の運動会にも積極的に参加し、交流を深めていました。



技術指導状況

四 参加者の感想

最終日には、毎年恒例となっている活動報告会が地域の方々や指導関係者を招いて行われ、参加した学生からは、地域の方々や指導者など関係者へのお礼とともに、「全くの初心者だった人も、男女を問わず上達し、正確に素早く作業を行えるようになった。この活動に参加して学んだことや感じたことを今後に生かしたい。」等の意

見が出されていました。



報告会状況

五 今後の取り組み

(一社) 人杜守では、この活動状況のPR動画を作成し、参加者募集の際や森林・林業の大切さを多くの人に知ってもらうための情報発信に活用していく予定です。

六 おわりに

この活動を通じて、森林・林業に関心や興味を持ってもらい、少しでも多くの学生に森林・林業関係の仕事に就いてもらえるよう、今後とも支援を続けていきたいと考えています。

(新見普及指導区 神本 英夫)

チェーンソー技術を競う『第3回日本伐木チャンピオンシップ(JLC)ジュニアクラス』で優勝!



株式会社 岡田林業
横山 大蔵さん
(22歳)

今回は、今年5月に青森県で開催された日本伐木チャンピオンシップ(JLC)ジュニアクラス(24歳以下)で優勝された横山大蔵さんにお話を伺いました。

一 JLCについて

日本伐木チャンピオンシップ(JLC)は、林業技術及び安全作業の向上並びに林業の仕事を一般に広め、林業の社会的地位向上を図ることを目的としているチェーンソー競技の日本大会で(事務局:全国森林組合連合会)、2年に1度開催され今回で3回目です。①伐倒、②ソーチェーン着脱、③丸太合わせ輪切り、④接地丸太輪切り、⑤枝払いの5競技で技術を競います。総合上位3名と、ジュニアクラス優勝者である横山さんが、8月にノルウェーで開催される世界伐木チャンピオンシップ(WLC)に派遣されます。

二 経歴

横山さんは静岡県出身で、普通科高校を卒業後、東京農業大学森林総合科学科で造林学を学びました。就職にあたり、切捨間伐主体の関東圏よりも、切って使う西日本の素材生産現場での就職を検討していたところ、西粟倉村のイーゼロ株式会社ウェブサイトで岡田林業さんを知り、就職を決めたそうです。

三 JLC参加のきっかけ

高校生の時、2014年のWLCに出場した先輩を紹介されたことがきっかけで、競技会の手伝いを始め、そのうち自分も参加したいと思うようになり練習を重ねていったそうです。

JLCに出場前も、大学4年生の頃からチェーンソーの小さな大会には参加されていたそうです。

四 現在の仕事内容

今年4月の入社後すぐに現場に出て、伐倒作業に従事されています。毎日楽しく、特に大径木を切るのが楽しいとおっしゃっています。チェーンソーでの伐倒作業が主

ですが、グラップル・フォワードも既に操縦可能で、現在ザウルスロボにも乗り始めているとのことですが、

五 作業で気を付けていること

「安全面に非常に気を付けています。JLCでは、装備の不備や、危険な動作が減点対象となります。大会では減点をいかに無くすかが重要となるため、日頃から安全意識を身に着けるようにしています。また、大会を通して、高い安全意識だけではなく、チェーンソーの扱い等、技術を磨くことができます。」とおっしゃっていました。岡田社長も、「4月入社の新人にも関わらず、伐倒作業については安心して任せることができ、目立ても自分できちんとできるため、とてもありがたい。」とおっしゃっていました。

六 今後の抱負

抱負をお伺いしたところ、「8月

七 最後に

のWLCでは世界の技術を見て、持ち帰りたいです。チェーンソー競技は仕事にも活かせ、安全に確実に作業できるようになります。また、技術的なことだけでなく、スポーツとしての格好良さがあるため、若い人たちに競技を見てもらい、興味を持ってもらうことで10年20年先の担い手確保に繋がると思っています。自分は、自分の仕事に誇りをもって取り組んでいるので、その姿を見て、若い人達にも仕事に誇りを持ってもらいたいです。こうした機会をつくるためにも、是非岡山県でも競技会を開催してもらいたいです。」と語ってくださいました。

お忙しい中取材にご協力いただいた、横山さんをはじめ、株式会社岡田林業の皆さんありがとうございました。

5月のJLCは社長も観戦されたそうですが、きびきびした動きや、ユニホームに目を引かれたそうです。

若い担い手の確保が厳しいこの頃ですが、安全教育もできるこのようなチェーンソーの競技会にもっと注目していただき、担い手の確保に繋がればと思います。

(勝英普及指導区 檜尾 彰久)



練習風景

「新たな森林経営管理制度」が平成31年度から始まります

一 はじめに

森林資源の適切な管理と林業の成長産業化を推進するため、市町村が森林所有者に意向を調査し、所有者自らが経営管理できない場合には、市町村を介して「意欲と能力のある林業経営者」に経営を委ね、林業経営に適さない森林などは市町村自らが管理を行う、新たな森林経営管理制度を定めた「森林経営管理法」が、5月25日に国会で成立し、平成31年4月から施行されます。

二 法律ができた背景

スギ・ヒノキの人工林の約半数が50年生以上で主伐期を迎えている中、不在村者保有の森林や所有者不明森林の増加、境界未確定の森林の存在や林業の担い手不足等が大きな課題となっており、森林整備が進まず、森林資源が十分活用されていく状況にあります。

一方、現場で森林整備を行う林業経営者の多くは、作業の効率化に向けて事業規模拡大への意欲はあるものの、事業地確保が課題となっており、森林現場に近く、所有者に最も身近な存在である市町村が、所有者から経営管理の委託を受けて森林を集約化し、適切な森林の整備と林業の成長産業化に結びつけるようとするものです。

三 森林経営管理法の概要

① 森林所有者に適切な森林管理を促すため、経営管理の責務を明確化する。

② 市町村は森林所有者に対し、経営管理の意向調査を行い、森林所有者自らが経営管理を実行できない場合には、市町村が経営管理の委託を受け、意欲と能力のある林業経営者に再委託する。

③ 都道府県は、意欲と能力のある林業経営者の募集・公表を行い、市町村は公表された経営者の中から再委託先を選定する。

④ 再委託できない森林及び再委託に至るまでの間の森林においては、市町村が経営管理する。

⑤ 所有者不明森林等は市町村による探索や公告、都道府県知事による裁定など一定の手続きを経ることにより、森林所有者から

市町村に経営管理を行う権利を設定できる特例を措置する。

四 新たな制度への財源

新たな森林経営管理制度を運用する財源として、平成31年度税制改正において森林環境税（仮称）及び森林環境譲与税（仮称）が創設され、課税は平成36年度から、市町村・県への譲与は森林現場における諸課題に早期に対応する必要があることから、課税に先立ち平成31年度から始まる予定です。

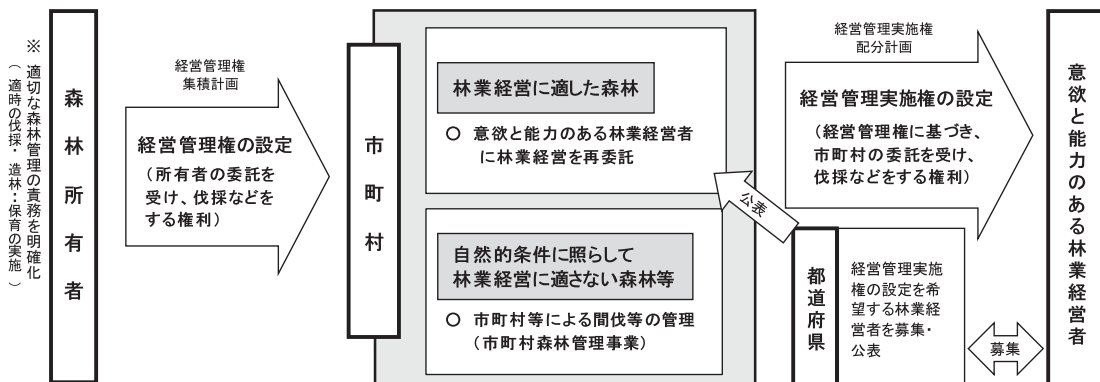
五 おわりに

平成31年度から始まる新たな制度の円滑な実施に向けて、現在、市町村と県による検討会を継続して開催し、課題整理を行っているところで、林業技術者や現場作業員の確保・育成、意向調査を行うための森林の情報把握等が必要との意見が出されており、その解決策を検討しているところです。

新たな森林経営管理制度を円滑に進めるために、森林所有者をはじめ地域の林業関係者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

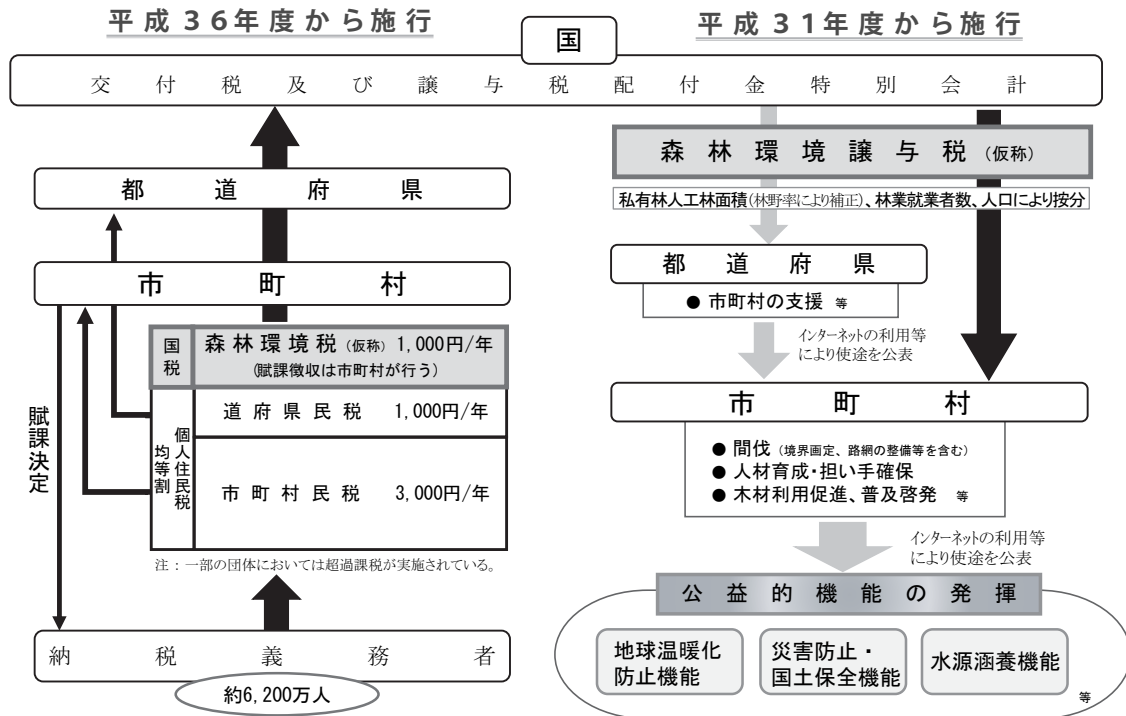
（林政課 普及指導班）

新たな森林管理システム(森林経営管理法)の概要



森林環境税(仮称)及び森林環境譲与税(仮称)の制度設計イメージ

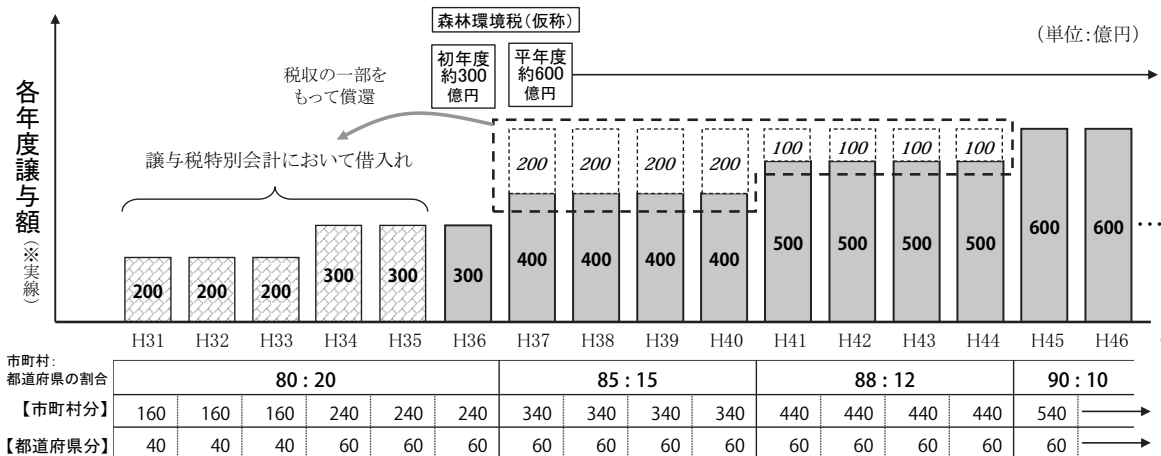
森林整備等のために必要な費用を、国民一人一人が広く等しく負担を分任して森林を支える仕組み



(林野庁会議資料より)

森林環境譲与税(仮称)の各年度の譲与額と市町村及び都道府県に対する譲与割合及び基準

- 市町村の体制整備の進捗に伴い、譲与額が徐々に増加するように借入額及び償還額を設定。
- 森林整備を実施する市町村の支援等を行う役割に鑑み、都道府県に対して総額の1割を譲与。(制度創設当初は、市町村の支援等を行う都道府県の役割が大きいと想定されることから、譲与割合を2割とし、段階的に1割に移行。)
- 使途の対象となる費用と相関の高い客観的な指標を譲与基準として設定。



市町村分

- 50% : 私有林人工林面積 (※林野率による補正)
- 20% : 林業就業者数
- 30% : 人口

都道府県分

- 市町村と同じ基準

※税収は粗い見込み値であり、計数全般について借入金利息を勘案していない。

※課税開始初年度である平成36年度は、市町村への納付・納入が行われるのが6月以降であり、都道府県を経由して国の譲与税特別会計に払い込まれるまで時間を要すること等から、平年度化後の税収(約600億円程度)の概ね半分の約300億円の譲与額と見込まれる。

(林野庁会議資料より)

竹林の有効活用

— 燃料としての竹 —

一 はじめに

日本人の生活様式や商品流通の変化により、竹林が活用されなくなったことで、放置竹林や侵入竹林の問題が全国的に取り沙汰されていきます。一方で、竹は再生力が強く、主に人の生活圏に近いところに広く分布しているため、効率的に収集し上手く利用する方法を確立すれば非常に有用な地域資源であると言えます。

森林研究所では、研究課題「半炭化技術による放置竹林の活用」に取り組んでいます。この研究の中で得られた竹の熱利用の有用性を示す知見について紹介します。

二 竹林の蓄積量

現在研究を行っているフィールドは、スギ・ヒノキ造林地に隣接する放置竹林から竹が侵入した林分です。この林分の竹の稈密度は5、340本/畝、平均胸高直径は約11センチです。伐採した一部の竹の重量から推定した竹の林分蓄積は、174



造林地に侵入した竹林

ト/畝と試算され、枝葉や元口径2センチ下の部位を除いても140ト/畝の蓄積があることがわかりました。

三 竹材の熱量

収穫した生の竹材の熱量を測定したところ、1畝当たりの平均で、2,630キロワットの熱量があることがわかりました。これは生竹1ト(約30本)で約272キロワットの灯油に相当する熱量があることを表しています。同じ試料を完全に乾燥させて測定したところ1畝当たり4,390キロワット(灯油450リットル相当/ト)となりました。一般に竹は高含水率

ですが、乾燥させることで熱利用効率がかなり向上すると考えられます。条件の良い場所に保管すれば比較的短時間で20割程度の水分を減少させることができます。また、現在の研究では、運搬や保管に不利な枝や梢端部を燃焼させた熱を利用して短時間で竹材を脱水させる簡易な半炭化処理(保有熱量の喪失を最小限に抑えるために炭化工程の熱分解反応を途中で止める処理方法)により熱効率と保管性を高める方法を検討しています。

四 竹林の活用

5千本/畝というのは、竹林の密度としては中庸であると言えます。この程度の竹林であっても、例えば5年毎に20割の抜き切りをすれば、毎年35ト/畝程度の竹材が継続的に収穫でき、竹林も維持されると考えられます。このような竹林が1畝あれば、年間10キロワットの灯油相当の熱量を確保できる計算です。中空で軽量である竹は、収穫に大型の機械を必要とせず、チェーンソーと簡易なウインチを使用すれば1ト/人・日以上の収穫が可能であることもわかりました。

五 おわりに

竹は含有成分の特性により、クリンカと呼ばれる溶融スラグの発生やボイラー設備の腐食促進などの問題があり、燃料としては不向きとされてきました。しかし、最近では高効率で小型の薪ボイラーや薪ストーブで、構造的な工夫などにより竹の燃焼が可能であるとされる製品が市販され始めています。本県の温泉施設等にも数台導入されている薪ボイラーでも竹を使用できるということです。

竹を燃料として利用するためには使用する燃焼装置に合わせた玉切りやチップ化などの加工が必要であることや、燃焼器具への効率的な投入方法等の課題がありますが、高い熱変換効率を持つ燃焼装置を活用すれば、有用な資源のひとつとして見直す価値は十分にあると考えられます。

効率的な収集方法と、極力手間のかからない加工方法の提案により、これらの燃焼装置を活用した竹材の熱利用が行われることを目指して研究を進めています。

(林業研究室)

専門研究員 牧本 卓史



『林務の職場』

平成30年度
岡山県新規採用職員

今年度、岡山県職員（林業職）として新規採用された4名のうち、2名の方をご紹介します。



岡山県民局
林業企画課
澤さわ 賢
たき 滝

○経歴と就職のきっかけ

平成8年に倉敷市で生まれ、幼い頃から山や海へキャンプに行くなどして、自然に興味を持っていました。高校生になって森林について特に興味を持ち、学びたいと思うようになりました。そのため、高校卒業後は東京農業大学の森林総合科学科に進学し、4年間林学について勉強しました。

就職活動では、地元の岡山県で働きたいという思いから、技術職・専門職の岡山県職員説明会、東京で開

催された岡山県・岡山市合同職員採用説明会にも参加していました。そうした時期に、大学の先生からの勧めもあり、4年間学んだことを活かせる仕事がしたいと思うようになり、岡山県の林業職を目指すこととしました。

○担当業務

森林計画、快適森林環境創出事業などによる森林病害虫の防除、環境緑化に関すること等を担当しています。

○今後の抱負など

岡山県の森林や林業などについてまだまだ知らないことばかりで、常に勉強している毎日です。先輩方のアドバイスを聞き、少しでも早く担当業務の知識や技術を、色々な経験を積みながら身につけていきたいです。

岡山県の林業や木材産業をより元気にするために、岡山県の森林と向き合っ、林務行政に貢献していきたいと思えますので、これから、よろしく願いいたします。



岡山県民局
林業企画課
樹ひろ 達
まつ 田

○経歴と就職のきっかけ

鹿児島県の出身で、小さい頃から自然豊かな場所で育ち、森林に興味を持ったため、九州大学農学部地球森林学科へ進学しました。

大学では主に森林水文学を学びました。さらに大学院では流域制御学研究室で森林水循環に関する知識を深めました。

その後、一旦は民間企業に就職し、システムエンジニアとしてロボット開発の業務に携わっていましたが、大学で学んだ知識を活かしたい気持ちが強くなり、岡山県職員（林業職）の仕事説明会への参加をきっかけに、岡山県の林業に興味を持ち受験することを決意し、採用されることとなりました。

○担当業務

現在の勤務地である備中県民局森林企画課では林業労働力対策、特用林産物の生産振興、林業金融、林

業種苗、林野火災、環境緑化に関する業務などを担当しています。

現在の業務は、市町村・森林組合等へ指導する機会も多く、勉強しておかないといけないことも多いですが、仕事がスムーズに進むようにしていきたいと考えています。

○今後の抱負など

岡山県の土地勘はありませんが、登山が趣味なので、休日は県内の山々を散策しております。

林業に関する知識はまだですが、毎日感じるもの全てが新鮮で、非常に勉強になっていきます。

今までの経験も活かしながら、これから出会う方々との対話を積極的に行って、岡山県の林業の発展や地元貢献できる技術者になれるよう、自己研鑽に努めてまいりたいと思えますので、よろしく願い致します。

若くフレッシュな方達を迎え、改めて頑張らなくてはならないと感じる今日この頃です。
次号（9月号）で残るお二方をご紹介します。ぜひご覧ください。
（事務局）

地域イベント成果

森林計画制度研修会
開催後のフォローアップ

【津山普及指導区】

1 林業事業体への訪問指導

市町村職員を対象とした森林計画制度研修会を開催し、森林計画制度の基本的な内容を説明したことを踏まえて、林業事業体にも足を運び、森林クラウドの操作方法と、情報を登載するメリットについて普及を進めているところです。



森林組合職員を対象とした操作指導

これまでは森林組合を中心に訪問指導しているところですが、民間事業体からも多くの問い合わせが

2 今後の取組

他の普及指導区とも連携して森林経営計画の作成を促進するとともに森林関連情報の「見える化」を進めることにより、施業の集約化につなげていくこととしています。



他の普及指導区と連携した指導

寄せられており、森林クラウドへの期待の高さを感じとれます。

3 最後に

津山普及指導区では、今後とも、市町村・林業事業体の担当者の方に森林クラウドの操作方法と、情報を登載するメリットについて理解を深めてもらい、森林資源の適切な管理につながるよう、取組を継続したいと考えています。

(津山普及指導区 奥村 清次)

森林・林業関係イベント参加募集

開催日時	場 所	行事名称・内容	問合せ・申込先等
30.9.6 (木) 13:30~	岡山コンベンションセンター (岡山市北区駅元町)	第4回全苗連生産者の集い	第4回全苗連生産者の集い実行委員会事務局 (岡山県山林種苗協同組合内) TEL (0868) 24-0077
30.9.29 (土) 9:00~14:00	高梁美しい森 (高梁市松山)	天然キノコ採取と勉強会 参加費無料、募集人員50名	NPO法人フォレストフォーピープル岡山 高梁市浜松1285-1 TEL (0866) 22-1000
30.9.30 (日)	備前市	岡山県みどりの大会2018	岡山県自然環境課自然公園班 (申込不要) TEL (086) 226-7312



『森林保険』

岡山県森林組合連合会



森林保険「大事な資産を災害リスクから守ります」

加入例：間伐後加入(3年30%)

ヒノキ 0.1ha 30~50年生

保 険 料 746円~ 1,043円

保険金額 95,400円~135,000円 (全損の場合)

山林復旧の助けとなりますので加入をご検討ください。



平成16年台風被害の様子

約6千件 保険金支払い約27億円

技能講習会の開催（7月～9月）

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名 称	会 場	日 程	申込・問合せ先
小型移動式クレーン運転	岡 山	7月19,20日、9月13,14日	一般社団法人 岡山県労働基準協会 TEL (086) 225-3571
玉掛け	岡 山	7月12,13日、8月2,3日	
	津 山	8月30,31日	
伐木（特別教育）	津 山	7月17,18日	
	新 見	9月11,12日	
刈払（安全衛生教育）	岡 山	7月17日	
	津 山	8月27日	
はい作業主任者	岡 山	8月1,2日	陸上貨物運送業労働災害防止協会 岡山支部 TEL (086) 234-1332

林 産 物 市 況

●木 材（5月29日）

・出荷量 約2,100m3

単位：千円/m3



樹種	長さ	径級	直材	小曲り	概 況
杉	3m	14～16	11.5	—	杉概況 【3m】 柱材 横這い 中目材 横這い 【4m】 中目材 横這い 元木 横這い
		18～20	10	—	
		22～28	9	—	
	4m	18～22	10	—	
		24～28	10	—	
		16～18	15	—	
桧	3m	14～16	21	17.5	桧概況 【3m,4m】 柱材 強含み 中目材 強含み 元木 横這い
		18～20	18.5	17.5	
		22cm上	17	15	
	4m	14～18	20	17	
		20～22	17	15	
		24～28	17	15	
		30cm上	17	15	
	6m	16	—	—	
		18～20	28	—	
		—	—	—	
松	3m	18～22	10	8	松概況 —
	4m	18～22	10	8	

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

●乾しいたけ（6月8日）

・出品数量 4.1t ・価格高値 7,000円

・総平均 3,548円

価格：円/kg



品 柄	価 格		相 場	概 況
	平均	高値		
香 信 大	4,664	5,170	◎	(相場) 強：◎ 保合：○ 弱保合：□ 春子の発生状況については、3月にまとまった降雨と気温の上昇で発生が極端に集中した。しかし、4月に入り朝晩の気温が低く、発生直前に大雨が降る等したため、発生が止まり、生産量は当初の予想より伸びなかった。価格については、全国平均を下回っているが、スライスは依然として買い気があり、高値で取引された。 ※次回入札会は平成30年11月下旬
香 信 中	4,104	4,890	◎	
香 信 小	3,006	4,080	○	
小 間	1,469	1,530	△	
香信山成	3,457	4,680	○	
バレ大	3,384	4,520	○	
バレ中	3,082	4,500	○	
スライス	4,374	4,950	◎	
花どんこ	3,599	3,930	○	
上どんこ	3,903	7,000	○	
並どんこ	4,610	4,610	◎	
並並どんこ	3,317	4,300	○	
小玉どんこ	3,658	4,290	○	
山成どんこ	2,908	3,880	□	
こうこ	4,494	6,000	◎	
格 外	2,389	2,750		

資料：岡山県森林組合連合会椎茸共販所

●製 材（5月）

樹 種	寸 法	等級	区分	安 値 ～ 高 値	備 考
ス ギ	正角3m 10.5cm角	特等	K	53,000 (直送)～58,000 (市場)	
	正角3m 12cm角	特等	K	53,000 (直送)～58,000 (市場)	
ヒ ノ キ	正角3m 10.5cm角	特等	K	68,000～70,000 (無背割)	
	正角3m 12cm角	特等	K	63,000～65,000 (無背割)	
マ ッ	平角4m 10.5～12cm ×15～18cm	一等	K	75,000	
米 マ ッ	正角3m、4m 10.5cm角	特等	G	58,000～60,000	
	平角3m、4m 10.5 ×15～21cm	特等	G	62,000～	
北洋アカマツ	タルキ4m 3.8cm角	特等	K	70,000～75,000	
ホワイトウッド	間柱3m 2.7cm×10.5cm	特等	K	59,000～	

注1：価格は、岡山県内の市場等の相場を参考とした。

注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。

木を通して環境保全に貢献しています



公園修景施設・土木用資材
防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社
総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
グリーンフォーマット 〔切土軟岩用〕	森樹郎マット 〔切土土砂用〕	森樹郎マット21 〔切土土砂用〕	張りウッド 〔盛土用〕	ハリシバモック 〔盛土用〕



「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎(シンキロウ)マット工法」

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社
<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>
津山支店 / 津山市高尾573-1 TEL (0868) 28-0256
岡山事務所 / 岡山市北区芳賀5325 TEL (086) 294-1000

—— 安全・人と自然・調和 ——

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕 コニファー水和剤 〔幼令樹保護カバー〕 くわんたい
〔樹皮食い防止に〕 バークガード 〔野生草食獣食害防止〕 防獣ネット
〔クズ専用除草剤〕 ザイトロン・ザイトロンフレノック・ケイピンエース
〔樹幹注入剤〕 マッケンジー注入剤
(お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

販売元：日植アグリ株式会社
TEL：086-292-5525

大同商事(株)大阪営業所
TEL：06-6231-2819



CT-500C
・GP-532
小型ハイパワープロセッサ
IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

shindaiwa

高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社
津山市一方194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255
<http://www.mitsuyoshi.com/>

ほっけー木になる情報

A. 「更新伐」という作業があります。

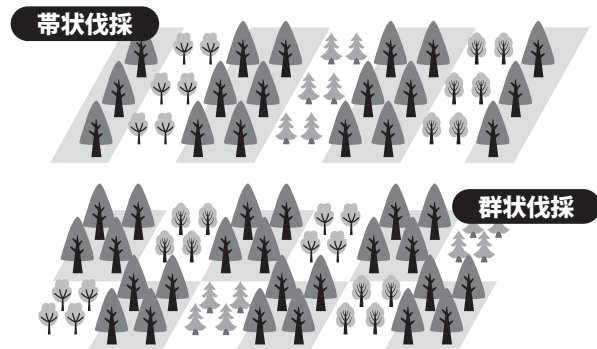
人工林のうち、利用期つまり更新時期を迎えたものの採算性の低い箇所については、放置するのではなく、より自然に近い森林へ誘導することにより、管理コストを抑えながら期待されている森林保全機能を将来にわたって発揮することが可能です。

このような人工林の広葉樹林化等の促進を目的として行う抜き伐りや群状伐採等の作業が「更新伐」と呼ばれており、国庫補助事業の直接支援対象の作業種目として区分されています。

「更新伐」の補助を受けるためには、作業の方法や規模等の基準を満たすほか、更新できなかった場合に植栽義務を負うなどの条件があります。将来の森林経営を見通す上で、選択肢の一つとして検討されてはいかがでしょうか。

なお、保安林に指定されている森林は、伐採等が制限される場合がありますので、予め、お近くの森林組合や市町村又は県民局へご相談ください。

更新伐のイメージ図



(林野庁HPより)

緑あふれる環境づくり

株式会社 山 都 屋

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
 TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
<http://www.yamatoya-net.com>
 大阪営業所 津山営業所 水島営業所

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST INSURANCE



森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
 加入期間は？ 1年単位で何年でも！
 保険金がでるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約3千万円の保険料が支払われました。

ご契約のモデルケース (1ha あたり)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
 保険期間…5年 保険金額…最大188万円
 一括払いだと 21,225円 (5年間計)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
 保険期間…5年 保険金額…最大299万円
 一括払いだと 37,375円 (5年間計)

1ヶ月あたり
約350円

わずかおむすび
3個分



1ヶ月あたり
約620円

わずかラーメン
1杯分



○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。

林声

平成三十年七月一日(第四六十号)
(隔月一日発行)

森林・林業施設の紹介

「高梁市宇治町宇治の
公共トイレ」

高梁市が平成27年度から、宇治町宇治地内の「元仲田邸くらやしき」に隣接する駐車場に整備をしていた宇治公共トイレが、平成29年7月に完成しました。当施設は、木造平屋建て・延床面積約33平方メートルで、柱や内装材にはスギやヒノキが使用され、施設内は現代的な明るい空間になっています。特徴のある外観は、隣接する「元仲田邸くらやしき」や周囲の土塀との調和に配慮し「蔵」をイメージして設計されています。

特に、換気塔の機能を果たしている「蔵」の部分は煙突効果を応用し、塔の上部から排気を行う仕組みになっています。また、南側には観光客の休憩や住民の交流の場として長さ6mの木製ベンチが設置され、地域の



全 景

拠点施設の一つとして利用が期待されています。

「元仲田邸」とは、江戸時代の庄屋の伝統を引継ぎ、かつ明治の雰囲気併せ持つ明治中期の住宅で、現在、市が宿泊施設として管理をしています。(高梁普及指導区)



男子トイレ内の内装材

安心と信頼の証を届けます



創業以来、永年に渡り体育器具・遊具を製作してまいりました。地元メーカーとして責任ある製品作りに取り組み、安心と信頼を皆様にお届けします。

日本体操協会器械器具検定工場・日本公園施設業協会認定工場
大久保体育株式会社

■本社 〒703-8214 岡山市東区鉄409 TEL (086) 279-0585 FAX (086) 279-0480
■倉敷営業所 〒710-0312 倉敷市藤戸町天城1021-1 TEL (086) 428-7576 FAX (086) 428-6153
■東京営業所 〒201-0903 東京都江利和泉木町1-21-1(201) TEL (03) 5761-9577 FAX (03) 5761-9587

緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計、積算
森林整備・森林公園の総合計画

一般社団法人 岡山県森林協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711
津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360



「緑の募金」 ご協力をお願いします

緑の募金でふせごう地球温暖化

募金期間
春のみどりの月間
4月1日～5月31日
秋のみどりの月間
10月1日～10月31日

口座振込は
こちらへ
ゆうちょ銀行 01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店 1852041
トマト銀行岡山駅前支店 1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会
岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。(間伐材10%+古紙70%)

